

イオラニ、 プナホウへの道



ドクター高橋俊明
心理学博士
ドクター高橋塾塾長
宮崎県出身。東京教育大
理学部生物学科卒業。東
京教育大教育学部心理学科で修士号取得、ハ
ワイ大心理学部で博士号取得。1968年に川崎
市、69年に文京区、そして77年にホノルルに
塾を設立。2015年は、塾からカメハメハ校に2
人、ハナハウオリ校に3人、イオラニ校に35人、
プナホウ校に70人合格。
Web: www.juku-in-hawaii.com
☎808-949-3366 / 808-679-5612 (日本語)

【No.136】ブラウン博士の発見(遊びの重要性)

無差別殺人の原因

1966年8月1日、テキサス大の学生チャールズ・ウィットマンは、大学構内にそびえる27階の展望台から、90分余りにわたる無差別銃撃をおこない、警官に頭を狙撃されるまでに46人を殺傷しました。事件後、テキサス州から原因究明を委託された精神科医ブラウン博士は、テキサス州で生じた殺人事件の首謀者26人に面接調査をし、あることを発見しました。それは、ウィットマンを含むほとんどの殺人犯には、2つの共通点があるというものでした。それは、彼ら殺人犯は、虐待された家庭出身であること、幼児期にのびのびと遊んだ経験がないということでした。

ブラウン博士は、当時2つのうち、どちらが殺人を犯す主な原因なのかからなかったの、その後42年間にわたり、6000人余に面接し、詳細なデータを集めました。その研究から分ったことは、子ども時代の「自由な遊び」の重要性でした。
ブラウン博士は言います。「子ども時代に自由闊達で想像力を逞しくするような遊びを

することが、幸福で適応力のある大人になる必要条件である。自由な遊びは、円満な対人関係、ストレスを乗り切る力、さらに問題解決にあたっての総合的判断力などを育む」。

自由な遊びとは

2005年度の「小児科と青少年医学の記録文書」に掲載された論文によれば、81年から97年の16年間で子供たちの自由に遊ぶ時間は25%減少。その分、音楽やスポーツなどの習い事(ルールが大人によって決められ、子供は大人の定めた類型に従うよう仕向けられるので、これは自由な遊びとは正反対なものです)に使われる放課後の時間が大幅に増加しています。その要因には、受験競争の激化や、教育熱の向上もあるでしょうが、もう一方では、自由な遊びの価値が過小評価されている事です。

ミシガン州の貧困地域では、義務教育の高校を中退する生徒が多く、犯罪者のメッカになっています。97年に、教育振興研究財団がその地域に関する画期的な調査結果を発表しました。自由な遊びを中心とする幼稚園生と教師によって常

に規律が厳しく護られ、自由な遊び時間の少ない幼稚園生の追跡調査の比較では、23歳までに重罪で逮捕された数は、教師の規律の厳しい幼稚園の卒業生では、3人に1人の割合でしたが、自由な遊び中心の幼稚園の卒業生では、10人に1人以下だったそうです。大人になっただけでなく、全ての哺乳類、そして人間の大人にも不可欠であることが心理学者や脳科学者、生物学者から指摘されています。子どもでも動物の子でも、栄養不足状態やストレスがあると遊ばなくなり、自由な遊びとは、スポーツのような明確なゴールがあるものではなく、また、目的をあらかじめ設定されたものでもなく、子犬がじゃれあうように、子どもが追いかけて遊ぶように、自然に自由に楽しめることが大切です。その楽しいひと時の中で、大脳は活発に活動し、遊び仲間との間で、何が受け入れられ、何が受け入れられないかを体感するわけです。

なぜ自由な遊びが大切か

自由な遊びは、単に子どもだけでなく、全ての哺乳類、そして人間の大人にも不可欠であることが心理学者や脳科学者、生物学者から指摘されています。子どもでも動物の子でも、栄養不足状態やストレスがあると遊ばなくなり、自由な遊びとは、スポーツのような明確なゴールがあるものではなく、また、目的をあらかじめ設定されたものでもなく、子犬がじゃれあうように、子どもが追いかけて遊ぶように、自然に自由に楽しめることが大切です。その楽しいひと時の中で、大脳は活発に活動し、遊び仲間との間で、何が受け入れられ、何が受け入れられないかを体感するわけです。

子どもであれば、自分だけがいつも王様でいることは許されず、順番を待たなければなら

大人にも不可欠なもの

コロラド大学のベコッフ博士は、「自由遊びなしには、大人たちは命の炎を早く消耗させ、必ず行き詰まってしまふ」と断言します。精神科医のブラウン博士は、大人に次の3種類の遊びを薦めています。

- (1) 体を使った遊び
時間をきちんと決めず、運動の成果を求めず、体を動かす。もし、体脂肪をとるために運動するとしたら、それは自由な遊びとはいえない。
- (2) 物を造る遊び
指を使って楽しんでできる物づくり。
- (3) 他人との遊び
特定の目的を持ったグループでなく、公園で会った人たちと冗談を言っておしゃべりをするような、軽い気持ちで接せられる人との出会い。

要するに、何歳になっても、子どもの的であれということです。永遠の少年や少女のように、好奇心に満ちた心を持って、時には子どもと一緒に遊べばいいのです。